

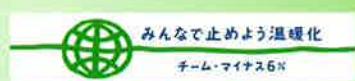
かわしんの 環境活動報告書

第3号 平成21年11月発行



本部及び本店営業部

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、
環境保全活動を実践しています。



川口信用金庫
<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

地球環境と地域社会へ対する社会的責任を果たし
地域の経済発展と環境保全に貢献する信用金庫を目指します。

産業経済の発展とともに石炭・石油等の化石燃料を大量に消費した結果、大量の二酸化炭素を発生させ、私たちは「地球温暖化問題」という困難な課題を解決する必要に迫られています。環境問題は温暖化のみに留まらずオゾン層破壊・森林破壊・砂漠化・産業廃棄物の大量発生等様々な形で現れています。

このような環境問題の重要性を踏まえ、当金庫では環境管理室を中心として二酸化炭素の発生量を減少させるため電力使用量や廃棄物の削減その他様々な環境負荷低減活動に取り組んでいます。

また金融機関としての本来業務を通じて環境に配慮した活動を行う企業や個人に対して環境関連金融商品・サービスを提供するなど、地域金融機関としての社会的責任を果たし、地域経済の健全な発展と地域環境の保全に貢献しようと考えております。

平成21年11月
理事長 山口泰男



環境方針

I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。

2. 前記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、及び福祉・環境を大切にする地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関する適用可能な法的要件事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

平成21年度環境目標

I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1. 電力の使用

電力使用量を11.6%削減する（平成14年度比）

2. 廃棄物の分別と排出

廃棄物の分別を推進するとともに、物件費を11.5%削減し排出量の削減を図る（平成14年度比）

3. 紙の使用・廃棄

紙費用を14.5%削減する（平成14年度比）

II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

- 1 既存の環境関連金融商品の拡販
- 2 新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
- 3 OA機器の効率的活用
- 4 コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
- 5 顧客へのISO普及・支援
- 6 各種地域貢献活動の立案及び実行
- 7 環境関連のその他サービスの提供



平成21年11月24日(火)
上尾支店
リニューアルオープン！

環境とエネルギーのことを考え

すべての人にやさしい店舗を目指して新しく変わりました。

上尾支店は平成21年11月24日に地域新エネルギー導入店舗として、新築移転しました。
「環境にやさしい店舗」をみなさまに感じていただける居心地のよい空間になります。

1. 大型太陽光発電システムを導入して、ロビーの照明・空調に利用。
2. 外壁の発泡コンクリートに加え、内側には強固な断熱対策。
3. 照明には、消費電力が少なく長寿命の省エネタイプを採用。
4. 自動照明も採用。消費電力を削減し、CO₂の低減に配慮する。
5. 全ての人に優しいバリアフリー設備を充実。ロビーもゆったり。
6. 広い駐車場の確保、ATM増設、全自动貸金庫設置で地域に優しい。



屋上設置の太陽光発電パネル



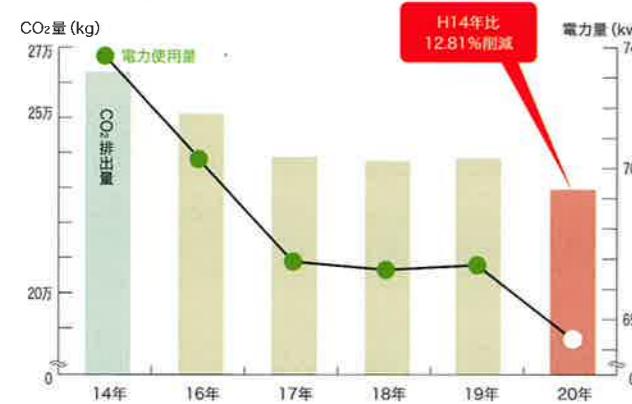
●新住所 〒362-0075 上尾市柏座2丁目7番12号

事業活動・環境活動の影響を把握する

事業活動や環境を保全する活動で投入した資源と生み出された価値を定量的に把握することは重要です。無駄を省き、浪費を抑えて効率的に環境負荷を最小限化する努力を続けています。

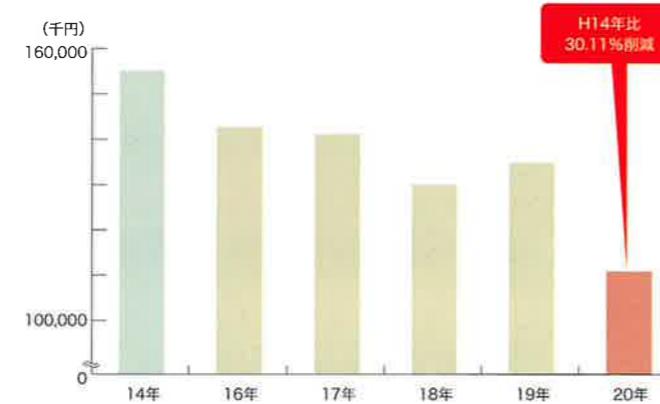
■電力とCO₂排出量の削減

電力使用量を前年比で3.74%、平成14年度比では12.81%削減して目標(平成14年度比△10.6%)を達成しました。削減した94,544kwh(平成14年度比)の電力をCO₂に換算すると33,752kgに相当します。



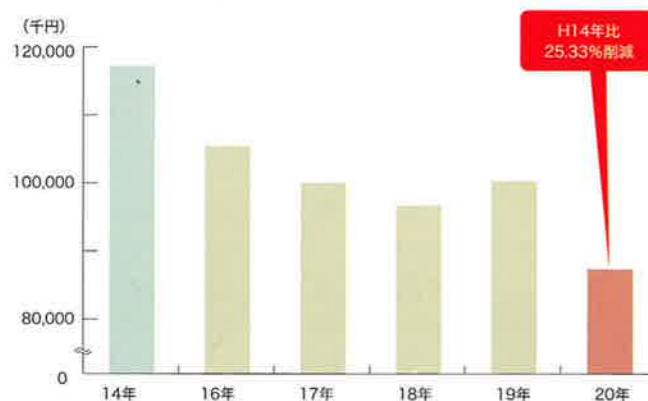
■廃棄物の削減

事業活動に投入した資源は消費されいずれ廃棄されることから、物品の購入額から廃棄物の全体像を定量的に把握しています。目標(平成14年度比△11.0%)を大きく上回り30.11%の削減を達成しました。



■紙の使用と排出量の削減

廃棄物全体から紙の使用・排出量に注目すると、平成14年度比で25.33%の削減率を達成しました。これはコピー用紙の削減努力、単価の見直しなどを進めた結果で、目標(同比△14.1%)を大きく上回る結果となりました。購入額から廃棄物の排出量を把握することで、経費の削減にもつながっています。



■廃棄文書の廃棄と再生

保管期限を過ぎた大量の文書の廃棄は焼却せず、セキュリティを十分に確保した上で溶解処理しています。細断せず紙の纖維がそのまま残るため再生しやすい利点があり、トイレットペーパーに再生しています。廃棄文書は本部が一括で管理し、平成20年度は40万ロールのトイレットペーパーに再生しました。

実施年度	廃棄文書重量(トン)	再生トイレットペーパー個数
H17年	103	103万個
H18年	36	36万個
H19年	45	45万個
H20年	40	40万個

■エネルギー削減の取り組み

クールビズとウォームビズの実施、OA機器の効率的な活用、自動販売機の商品陳列窓や事務所内の不要なライトの消灯、エレベーターの一部停止など電力使用量の削減に努めています。また、廃棄物の分別を徹底することで排出量の削減とリサイクルを推進しています。さらに、CO₂排出量削減としてハイブリッド車8台を導入しました。そのほか、職員の通勤時には公共交通機関を利用し、マイカー利用を禁止しています。



環境マネジメントシステムを推進する

地域の発展と環境保全に向けて、環境マネジメントシステムを取り入れ、その効果を上げることが求められています。地域社会の一員として環境問題に対する基本的な考え方を示し、具体的な活動につなげる取り組みを進めています。

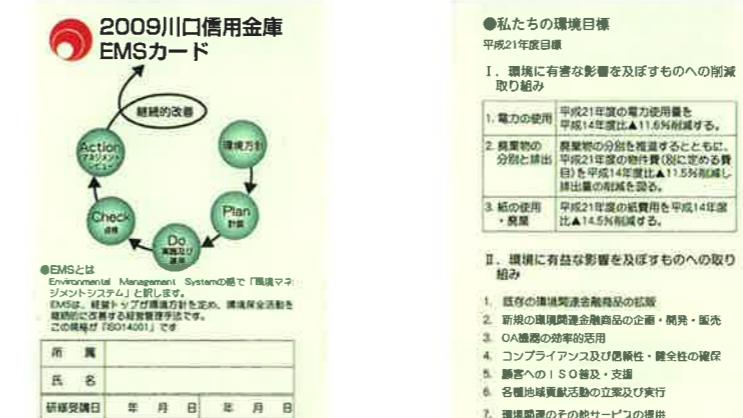
■全職員が一つになって

かわしんでは、理事長を最高責任者とした体制の中で環境マネジメントを推進し、本部総務部に環境管理室を設置しています。環境管理委員会には環境担当役員、本部長及び本店営業部長が参画し、環境管理室が事務局機能を果たしています。この環境管理委員会で、環境方針に則った環境目標を毎年決定し、本部及び支店の環境の取り組みに対するマネジメントを展開しています。また、平成16年度には環境マネジメントシステムであるISO14001の認証を取得し、理事長や環境担当役員がその進捗状況を定期的にレビューし、PLAN-DO-CHECK-ACTのPDCAのサイクルを回しながら、かわしん全体の環境マネジメントを推進しています。

■環境意識の啓発と高揚

かわしんの全職員はEMS(環境マネジメントシステム)カードを携帯しています。そこには、かわしんが掲げる「環境方針」「私たちの環境目標」「私たちの環境行動ルール」が記載されています。

2009川口信用金庫 EMSカード



●私たちの環境行動ルール

電力

- 未使用時にはノート型パソコンのひき出しを閉じる。
- 1時間以上使用しないパソコンの画面を自動消灯にする。
- OA機器(複数台)のOA機器(複数台)の電源を切る。
- 電球・蛍光灯: OA機器(複数台)の電源を切る。
- エレベーターの停用を除き、階段とエレベーターは内、外りは2階以上の場合は、階段とエレベーターを併用する。
- 不要な部屋の灯りを消す。
- 机の電源を切る。
- エアコンの温度設定は、冬は20度、夏は24度とする。

●私たちの環境行動ルール

廃棄物

- 事務室から出る廃棄物は、「廃棄物の処理状況一覧表」(廃棄物)に記して分別・貯蔵する。
- 既存・新規ともに、資源循環型のパッケージ、缶、ビン等は、資源循環の分野に貢献するため、廃棄する。
- 毎月(例: 1月1日)、資源循環の分野に貢献するため、廃棄する。
- ファイル、パインダーや本紙類周辺の消耗品に使われる。
- 机の中の資源循環品は、資源循環の分野に貢献する。

■職員の環境教育

かわしんは本部、営業部門の新入職員とパート職員を対象に環境教育を実施しています。環境マネジメントシステムに基づいて計画的、継続的に行なうことで環境に対する職員の知識と意識を啓発しています。



■消費者としての環境意識

業務で使用するセールスプロモーションに環境の視点を取り入れ、販売促進品のタオルやポケットティッシュなどに環境に配慮された6品目を採用するなど、消費者としての環境意識の向上に努めました。





eco
product
エコプロダクト

環境保全に向けた商品・サービスを提供する

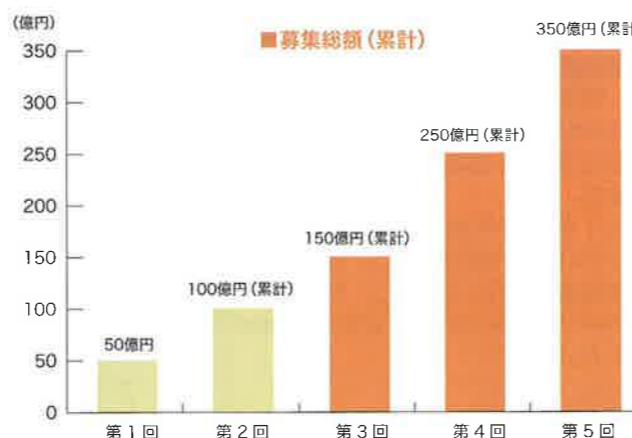
お客さまから満足、安心、信頼を得られる金融商品とサービスを提供することがかわしんの基本です。全職員がお客さまの声に耳を傾け、お客さまとともに環境負荷の低減と削減に向うことを心がけています。

■環境クリーン定期預金

平成19年7月から継続的に募集しており、第3回(平成20年7月)、第4回(平成21年2月)、第5回(平成21年7月)を募集しました。募集金額は合わせて250億円でした。

この商品は募集達成総額の一定割合に相当する額を、かわしんが環境保護のために寄付するものです。もちろん、お客さまのご負担はありません。

環境関連商品が環境保護をサポートするだけでなく、募集パンフレットにさいたま緑のトラスト写真コンクールの入賞作品を採用するなど、商品の企画開発を通じて環境保護団体との連携を深めるきっかけにもなっています。



第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

■環境関連融資・ローン

ISO9000及びISO14001の認証取得を目指すお客さまを支援するISO関連特別融資を企画、開発しました。取得に関わる運転資金や設備資金をご利用いただけます。また、環境にやさしいエコカーの購入などご利用いただける固定金利型のカーライフプラン・エコカー資金も好評いただきました。



■エコライフを支援 住宅ローン

自然エネルギー利用や省エネルギー対策など地球環境に配慮した住宅の建設や購入を支援する住宅ローンを取り扱いました。埼玉県と連携し、固定金利、変動金利ともにかわしんの基準金利より年1.2%優遇します。この他にも家族のきずなや子育てを応援する住宅ローンもあります。



■環境にやさしい店舗へ

平成21年11月24日、上尾支店が柏座2丁目7番12号に移転しリニューアルオープンしました。太陽光発電システムを導入してロビーの照明・空調に利用するなど環境にやさしい店舗です。また、バリアフリー設備をさらに充実したほか、広い駐車場を確保するなどにも地域にもやさしい店舗を目指します。



eco
communication
エココミュニケーション

環境への価値観を共有する取り組みを進める

かわしんが環境保全や保護に対して何を考え、何をしようとしているのかを地域社会へ伝え、地域の人々がかわしんに対して何を望んでいるのかを知ること。地域社会の一員として価値を共有するためにはコミュニケーションが欠かせません。

■自然保護団体との連携

かわしんは、環境保全や保護をサポートする環境関連金融商品やサービスを企画・開発、販売してきました。その取り組みを通じて、埼玉県をはじめさまざまな団体と連携を深めています。そのつながりを活かして、環境クリーン定期預金の寄付を行った財団法人さいたま緑のトラスト協会の活動に協力し、同協会の写真コンクール入賞作品をカレンダーに採用しました。

同協会はさいたま緑のトラスト写真コンクールを主催しています。カレンダーには、このコンクールのトラスト保全地の部の最優秀賞作品を採用しました。埼玉県嵐山町の自然を撮影した美しい作品で、大きな反響をいただきました。

カレンダー 24,500部を制作しお客さまへ配布することで、同協会の活動を支援するだけでなく、埼玉の優れた自然や貴重な環境への关心を高め、それらを保全・保護する必要性に対して広く理解を求めることができました。



■みどりと川の再生を応援

環境クリーン定期預金を通じて、平成20年度は500万円をさいたま緑のトラスト基金(財団法人さいたま緑のトラスト協会)へ寄付し、平成21年度は250万円を同基金へ、200万円を彩の国みどりの基金(埼玉県)へ寄付しました。



■地域社会の一員として

かわしんは人的な経営資源を活用し、事業活動以外でも地域社会に貢献していきたいと考えています。職員一人ひとりが市民として主体的にボランティア活動を実践できるよう努めることを目指しています。その一つとして、支店では店舗周辺の清掃活動を定期的に行い地域のクリーン化に協力しています。



かわしんの環境関連商品

かわしんISO関連特別融資 (ISO9001 ISO14001の認証取得費用)

1. ご利用いただける方 当金庫と継続して6ヶ月以上の与信取引がある方
2. ご融資金額 1,000万円以内
3. ご融資期間 運転資金5年以内(据置6ヶ月以内)
設備資金7年以内(据置12ヶ月以内)
4. お使いみち ISO9001及び14001に係る運転及び設備資金
5. ご返済方法 元金均等分割返済 利息先取
6. 保証人 代表者は連帯保証人
7. 担保 原則不要であるが、一部協議により必要となる場合があります
8. 金利 変動金利扱い基準金利は長プラ+0.7%とします

環境クリーン定期預金

募集達成総額の0.02%に相当する額を川口信用金庫から埼玉県へ環境保全活動に役立てていただこう寄付いたします。お客様のご負担はございません



1. ご利用いただける方 個人のお客様
2. お預け入れ期間 1年の自動継続定期預金
3. ご預金の種類 スーパー定期
4. お預け入れ金額 10万円以上300万円以内(1万円単位)
5. 適用金利 スーパー定期1年ものの「(契約時)店頭表示金利の2倍の利率」を適用します
6. お預け条件 当金庫へ新たにお預け入れいただく資金に限ります
7. 取扱期間 平成21年11月10日(火)～平成21年12月30日(水)
8. 募集総額 100億円(募集総額に達し次第販売を終了いたします)

その他の環境関連融資

- 青空再生低公害車導入資金(県制度資金)
- 環境みらい資金(県制度資金) 公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等
- オール電化住宅には、住宅ローンの金利優遇制度があります

カーライフプラン・エコカー(環境自動車)資金

お取扱期間:平成21年8月3日(月)～平成22年3月31日(水)

かわしんは環境保護を応援します

本金利プラン 基準金利
年2.7% (固定金利)

○ハイブリッド車・電気自動車等
エコカー購入資金は

年 1.8% (固定金利)
保証料別途

○低排ガス適合車(三ツ星以上)
購入資金は

年 2.2% (固定金利)
保証料別途

本金利プランの
対象となる方

「かわしんのカードローンをお持ちの方(新規可)」かつ、「かわしんの出資会員の方(新規可)」

1. ご利用いただける方

- ・当金庫の営業地区に居住又は勤務されている方
- ・満20歳以上で継続して安定収入がある方
- ・社団法人しんきん保証基金の保証が得られる方

2. ご融資金額

- ・10万円以上500万円以内(1万円単位)

3. ご融資期間

- ・5年以内

4. お使いみち

- ・自動車購入・二輪車購入
- ・車検、修理、運転免許取得資金等(ただし、営業用車を除く)、および同資金使途の旧債返済資金で当金庫より支払先への振込ができるもの

5. ご返済方法

- ・毎月元金または元利金等返済、ボーナス併用返済もできます。ただし、ボーナス返済部分の元金は、ご融資額の50%までとします

6. 保証人・担保

- ・社団法人しんきん保証基金が保証しますので必要ありません

7. 保証料

- ・別途、保証料(0.95%)を一括でお支払いいただきます

※環境関連預金・融資について、現在の詳しい内容やご融資利率、ご返済の試算は本支店にお問い合わせください

かわしんのISO・環境関連の経歴

- H15.9.1 「環境管理室」設置
- H15.9.12 第1回コンサルティング開発
- H15.12.3 かわしんISO関連特別融資の発売開始
- H16.5.28 ISO認証取得(H16.5.28～H19.5.27)
- H17.6.21 クーリビス開始(以降毎年6～9月実施)
- H17.11.1 ウォームビズ開始(以降毎年11～3月実施)
- H19.2.13 ISO更新審査(H19.5.28～H22.5.27)
- H19.7.2 かわしん環境クリーン定期預金発売(第1次募集)
- H19.10.1 かわしん環境活動報告書Vol.1発行
- H19.10.1 かわしん環境クリーン定期預金発売(第2次募集)

- H20.6.9 「チーム・マイナス6%」運動への参加
- H20.6.24 (財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付(2500千円)
- H20.6.24 (財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付(2500千円)
- H20.7.1 かわしん環境クリーン定期預金発売(第3次募集)
- H20.11.11 かわしん環境活動報告書Vol.2発行
- H21.2.16 かわしん環境クリーン定期預金発売(第4次募集)
- H21.5.19 (財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付(2500千円)
- H21.5.19 彩の国みどりの基金へ寄付(2000千円)
- H21.7.11 かわしん環境クリーン定期預金発売(第5次募集)
- H21.11.10 かわしん環境クリーン定期預金発売(第6次募集)



この冊子は環境にやさしい大豆油インクを使用しています。



川口信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号

TEL 048-253-3333 FAX 048-254-2665



本部及び本店営業部